

■ 故障・メンテナンスの連絡先と保証事項

■下記に記された各部位の故障、修理、取り替え、塗装等に関しては本窓を設置した建築業者様までご連絡下さい。

- ガラスの破損・交換
- オプション部材の購入
- 蝶番、ハンドル等の金物の故障
- 再塗装および補修塗料のご相談

※建築業者	会社名：
	住所：
	TEL：
	担当者：
	施工日： 年 月 日 ～ 年 月 日

■窓を設置したときに現場塗装が行われている場合は下記のメモを参考にしてください。

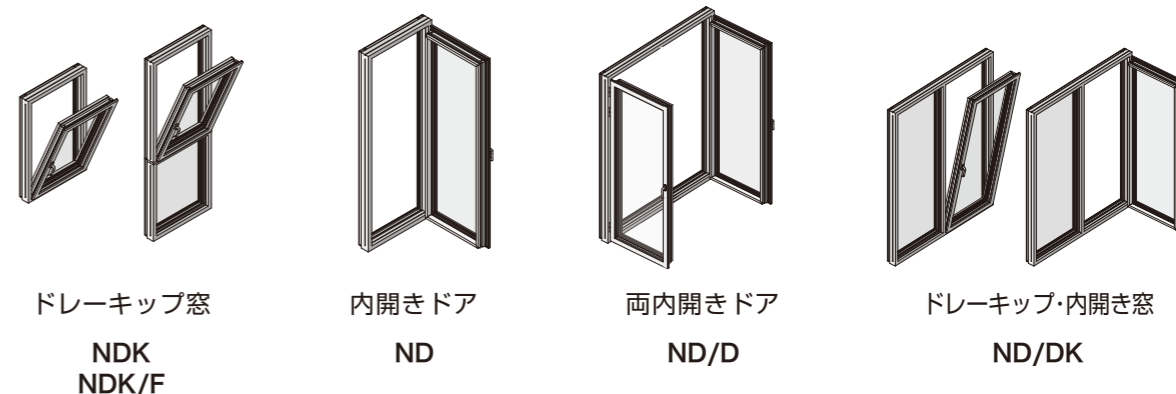
●塗装色メモ	※建築業者様へ…現場塗装を施した場合は、この欄に塗料品名詳細の記載をお願いします。
※塗装・補修業者	会社名：
	住所：
	使用した塗料メーカーとその品名・品番等：
	TEL：
	担当者：
	施工日： 年 月 日 ～ 年 月 日

- 本保証書は、日本国内においてのみ、また上記※印欄に記入のある場合のみ有効です。
- 上記保証期間中に別紙施工マニュアルに従い正しく施工され、且つ本取扱説明書に従い正常な状態で、故障及び不具合が生じた場合、本保証書記載内容に基づき無償修理または代替品の交換を致します。
- 保証期間経過後の修理等については、輸入販売元までお問い合わせ下さい。また、保証期間内であっても以下の場合は、保証対象外となりますのでご注意ください。
 - 1.住宅用途以外で使用した場合の故障・不具合及び住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の故障・不具合(例：建築躯体の変形による製品の不具合)
 - 2.メーカー及び弊社が定める施工方法に基づかない施工、施工の誤りによる損傷、故障・不具合
 - 3.ユーザーが適切な使用及び維持管理を行わなかったことに起因する故障・不具合(操作上の誤りによる損傷、不適切な塗装等)
 - 4.経年変化及び通常使用に起因する摩耗・消耗(例：木部のヒビやワシ、塗装の色あせやヒビ、ゴムシールの劣化、焼け等)
 - 5.立地・設置条件及び室内外の空気・湿度環境等に起因する腐食(例：海岸付近、温泉地、漏水、表面の結露【長時間の高温状態】、ガラスの熱割れ)
 - 6.事故または天変地異に起因する故障・不具合(例：火災、爆発、落雷、地震、噴火、洪水、津波、台風等)
 - 7.人間・動物・生物の行為に起因する故障・不具合(例：盗難行為、ねずみ、昆虫、カビ等)

スウェーデンウィンドウ ドレーキップ窓

取扱説明書

引渡し時に品質保証書(P.11)の
必須記入事項へ記入後、
必ずお施主様へお渡し下さい。





もくじ

使用上の注意	1
ドレーキップ窓の開閉操作	2
ドレーキップ窓+内開き窓の開閉操作	3~4
ドレーキップ窓+フィックス窓の開閉操作	4
内開きドア・両内開きドアの開閉操作	5~6
塗装部分のメンテナンス	7
ガラス部分のメンテナンス	8
気密パッキンのはめなおし	8
可動部分・金物部分のメンテナンス	9
ドレーキップ窓・内開きドアの蝶番調整方法	10
メンテナンス・部品交換時に必要な作業	10
故障・メンテナンスの連絡先と保証事項	11

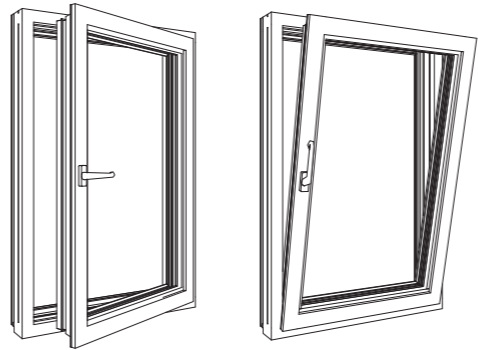
■ 使用上の注意事項

※本窓を使用する上で以下の注意事項を必ずお守り下さい。

<p>警告</p> 	<p>※取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定されるか、軽症又は物的損害が高い事を示しています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●開閉部分に手や指などをはさまないようにご注意ください。 開閉操作を行う時は、必ずハンドル(ノブ)をしっかり掴んでゆっくり行ってください。 ●強風時は必ず窓を閉め、ロックをしてください。 窓を開けたままにすると、突風等で窓が急激に閉じ、手や指などがはさまれ骨折などの危険があります。 ●万一ガラスが破損(ヒビ割れ)した場合、ガラスの破片の取り扱いには十分ご注意ください。 手や指等を怪我する危険があります。 ●窓はゆっくり開閉してください。 窓を開閉する際、机や台にのって開けたり、無理に外側に押し出すと、回転の反動により体をとられ、屋外へ放り出される危険があります。 ●ドレーキップ窓を開放して使用する場合、小さなお子様がいるご家庭では、ドレーキップ窓の場合は、内倒しポジション(P2参照)に限定し使用して下さい。 障子が大きく開いた状態またはロックされていない状態で使用しますと、お子様の落下事故の原因となり大変危険です。 ●金具等で手を切ったり指をはさんだりしないよう、十分気をつけてください。 ●窓木部は、定期的なメンテナンスと点検が必ず必要です。 (P7、P9参照) メンテナンスを怠ると、汚れ、ほこり、塗装(保護オイル)落ちが発生するだけでなく、木部のひびや割れ、カビや腐朽菌の繁殖、集成材の剥離、金物変形等を原因とする窓脱落の危険があります。開閉に不具合等がある場合、使用せず、施工業者にご相談ください。

<p>注意</p> 	<p>※取り扱いを誤った場合、使用者が重症を負う可能性は少ないが、障害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事を示しています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●窓の障子が施錠(ロック)されている状態の時は、無理に開閉しないでください。 窓本体、金具・ハンドルなどの破損の原因となります。 ●窓本体は、分解や改造をしないでください。 ●開閉方向以外の無理な開け方はしないでください。 窓本体の開閉不良または破損の原因となります。 ●窓のハンドルや丁番取付ビスやその他金具の固定ビスに緩みが生じていないか定期的に点検してください。緩んでいた場合は、ビスを締め直してください。

■ ドレーキップ窓 [NDK] の開閉操作

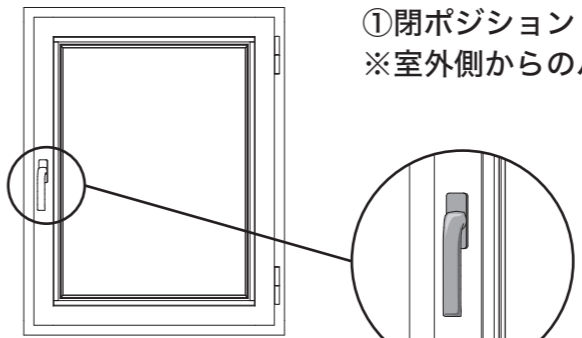


※図は室内側より見たものです。

ドレーキップ窓(NDK)タイプの場合、左図のような内開き、内倒しの2つの開閉となります。

2種類の開閉方法がありますので、以下の説明をよくお読みの上で操作して下さい。

■内開き・内倒し共通



①閉ポジション・・・完全閉状態です。
※室外側からのハンドル操作はできません。

■ハンドル

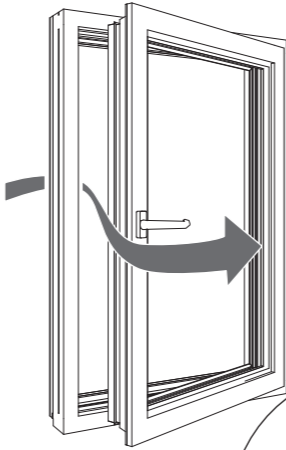
●ハンドルが下向きになっていることを確認してください。

ドレーキップ窓
開閉操作動画



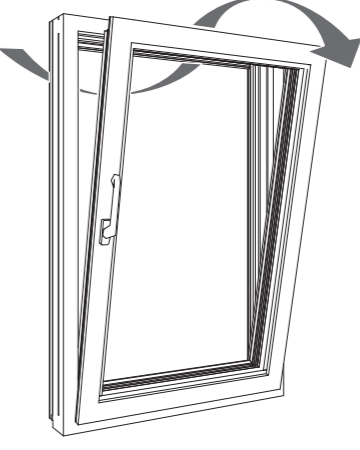
②開ポジション・・・内倒しポジション換気のため、少し窓を開けた状態です。

■内開き



ハンドルを90°
回して開きます。

■内倒し



ハンドルを180°上まで回します。
(ハンドルが上向きの状態)

ハンドルを上向きにしたまま
手前に引いて窓を開けます。

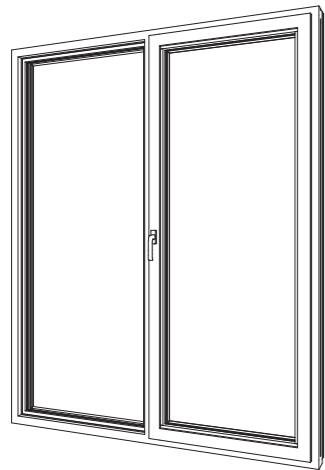
※内倒しで開いた窓の角度を
変えることはできません。

注意 扉を途中(90度未満)で開けたままで換気状態とした場合、突風等で障子破損の恐れがあります。

注意 ハンドルは斜めの状態ではなく、水平の状態でも動してください。

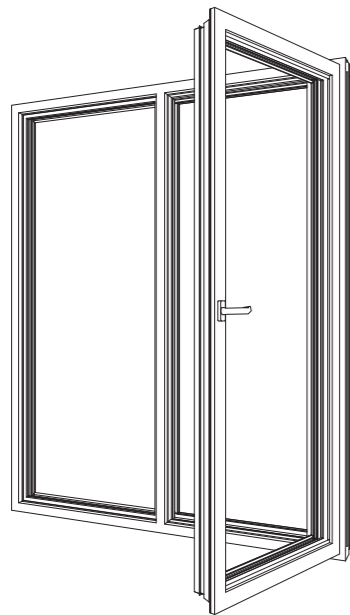
※90度までしか開きません。
※開閉位置を任意の位置で固定することはできません。

■ ドレーキップ窓 + 内開き窓 [ND/DK] の開閉操作

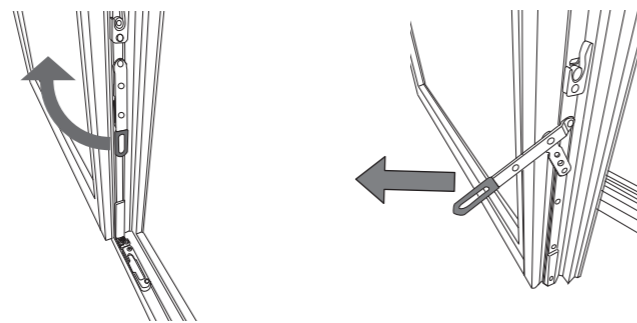


※室外側からのハンドル操作はできません。

① 内開きポジション・・・片側の窓が横開きした状態です。



■ 両開き子扉の開き方



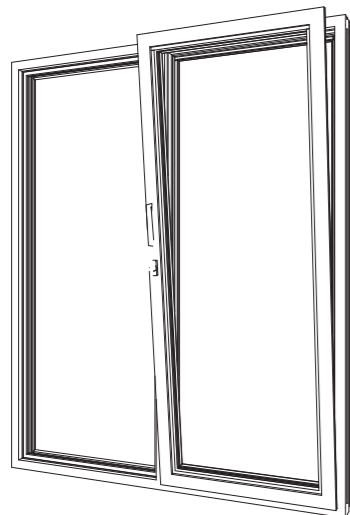
・赤いレバーを手前に引いて施錠ロックを解除してください。

・赤いレバーを引くと同時に窓も内側に開きます。

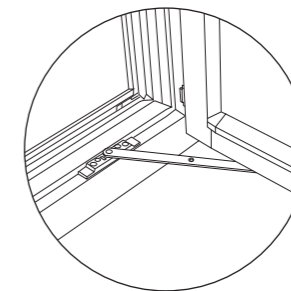
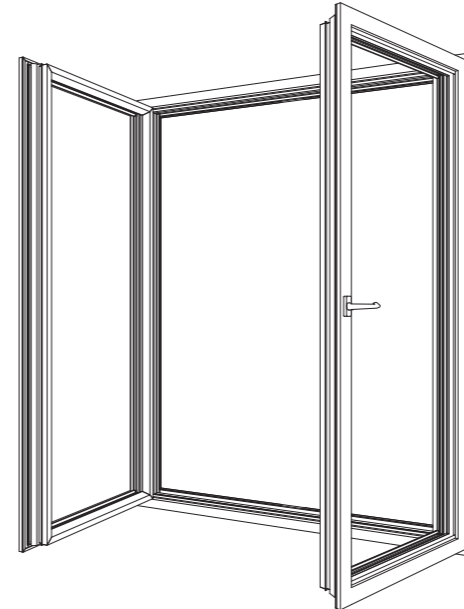
注意 扉を途中(90度未満)で開けたままで換気状態とした場合、突風等で障子破損の恐れがあります。

注意 ハンドルは斜めの状態ではなく、水平の状態でも動してください。

② 内倒しポジション・・・片側の窓が内倒しの状態です。



③ 全開ポジション・・・両側の窓が開いた状態です。



※90度までしか開きません。
※開閉位置を任意の位置で固定することはできません。

■ ドレーキップ窓 + フィックス窓 [NDK/F] の開閉操作

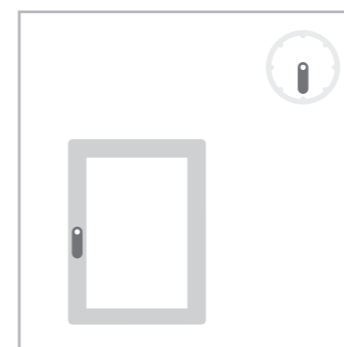


■ 上部：ドレーキップ窓、下部：FIX 窓

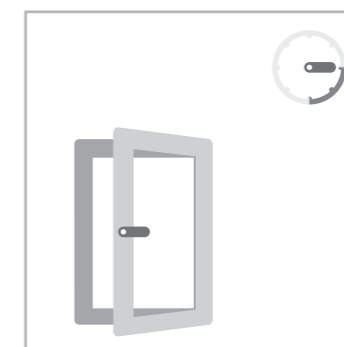
上部：ドレーキップ窓は、内開き・内倒しの開閉操作ができます。
下部：FIX 窓の用途は採光のため、操作はありません。

注意 扉を途中(90度未満)で開けたままで換気状態とした場合、突風等で障子破損の恐れがあります。

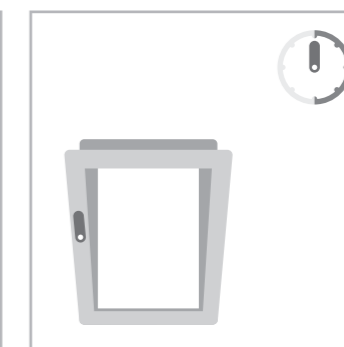
注意 ハンドルは斜めの状態ではなく、水平の状態でも動してください。



①施錠状態



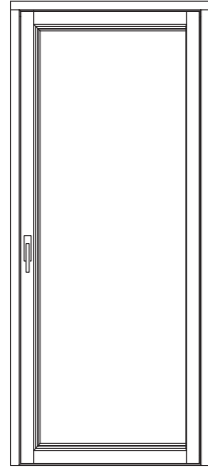
②内開き状態



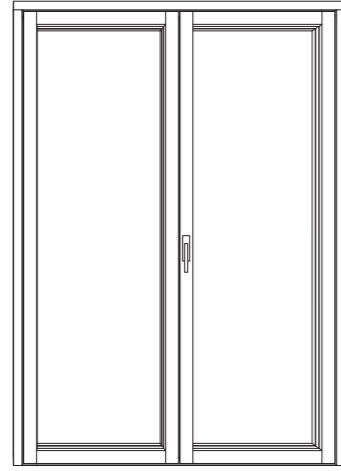
③内倒し状態

■ 内開きドア・両内開きドア [ND・ND/D] の開閉操作

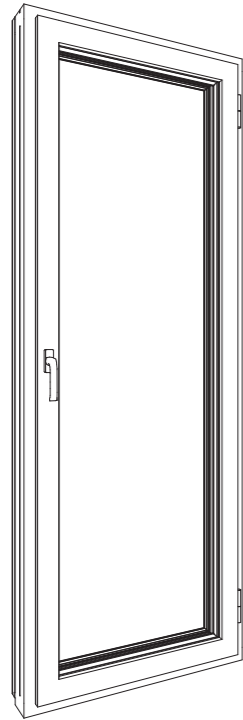
ND



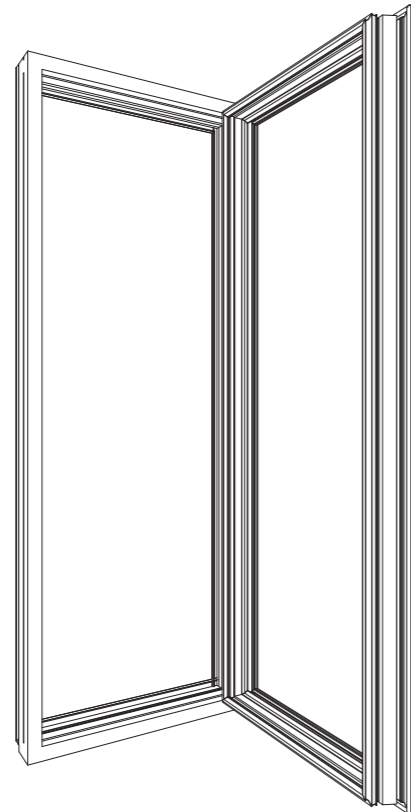
ND/D



開閉操作説明



完全閉状態



使用・換気状態

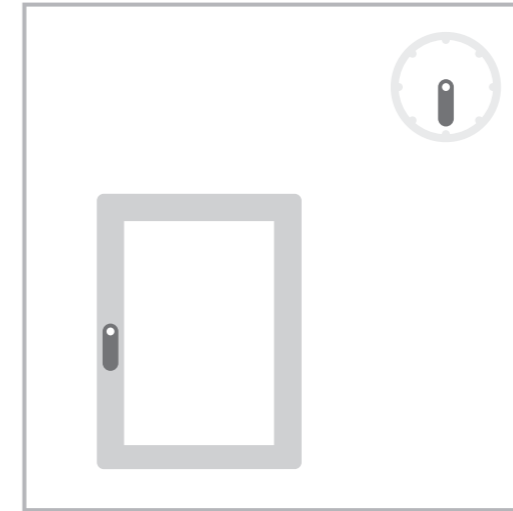
注意 扉を途中(90度未満)で開けたままで換気状態とした場合、突風等で障子破損の恐れがあります。

注意 ハンドルは斜めの状態ではなく、水平の状態でも可動してください。

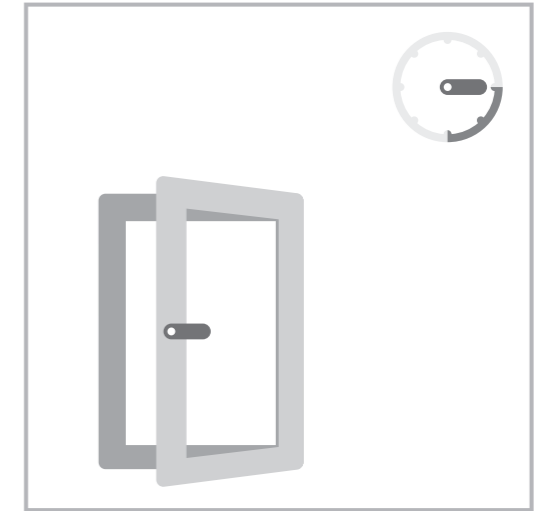
警告 ●この状態ではハンドルは固定されていないため、突風等で手を挟まれる等の怪我の原因となります。

注意 ドアタイプはハンドルが90度までしか動きません。無理に180度回すと破損の原因になります。

注意 ハンドルは斜めの状態ではなく、水平の状態でも可動してください。

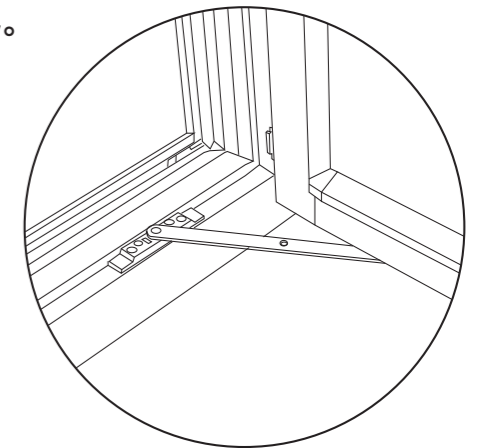


①施錠状態



②内開き状態

- 内開きドア、両内開きドアは90度までしか開きません。
- 開閉位置を任意の位置で固定することはできません。



■ 塗装部分のメンテナンス

天然の木を使った製品のため、すべての窓の木目は異なります。また、木製品には定期的なお手入れが必要です。お手入れをしていただく事で、天然木の質感や木が齢を重ねていく事での味わいを、長くお楽しみいただけます。お手入れを怠ると、かさつき・割れ・剥離等を起こしやすくなります。また、日当たりが悪く多湿な場所等カビの生えやすい場所に設置されている場合は、防カビの処理をしていただく事をお勧め致します。気象条件、湿度、設置場所によって経年変化の程度や状況は異なり、それに伴うお手入れの頻度も異なります。

● 施工業者様が現場で塗装された窓を使用している場合

11 ページの塗装色メモを参照し、塗料品名の取扱い説明書に従って下さい。
塗装の塗り足しや再塗装の目安は施工業者様までお問い合わせ下さい。

● メーカーステイン（木目の見える半透明な）塗料品

メーカーが使用している塗料は海外製品のため、同一製品の入手は不可能となります。お手入れの際はステイン系木材保護塗料を使用して下さい。塗装手順の概要を記します。手順の詳細は採用された塗料メーカーの取扱い方法に則して下さい。※再塗装をご希望される場合は、塗装業者様にご相談下さい。

■ 塗装面（塗膜）がかさついている、日焼けと紫外線で色あせている、軽微な割れ程度の場合

- ① 表面はホコリやチリで汚れています。目の細かいサンドペーパー等で軽くこすります。
カビ等はこの時点でしっかりと取り除いて下さい。
- ② 表面がきれいになったら塗料を塗布した布や刷毛で、木部に塗り足して下さい。
※防腐、防カビ、塗料との併用をお勧め致します。
- ③ 乾燥と二度塗り三度塗りを繰り返すと、より耐候性を増すことができます。

■ 塗装面（塗膜）が割れ、剥離を起こしている場合

- ① 塗料メーカー取扱いのリムーバーを使用して、塗膜を取り除きます。
カビや汚れが取れない場合は、漂白剤も使用して汚れはしっかりと取り除いて下さい。
- ② 表面がきれいになったら塗料を塗布した布や刷毛で、木部に塗って下さい。
※防腐、防カビ、塗料との併用をお勧め致します。
- ③ 乾燥と二度塗り三度塗りを繰り返すと、より耐候性を増すことができます。

■ 再塗装をご希望の場合

裏表紙の建設業者までお問い合わせください。

■ ガラス部分のメンテナンス

● 日常の清掃について

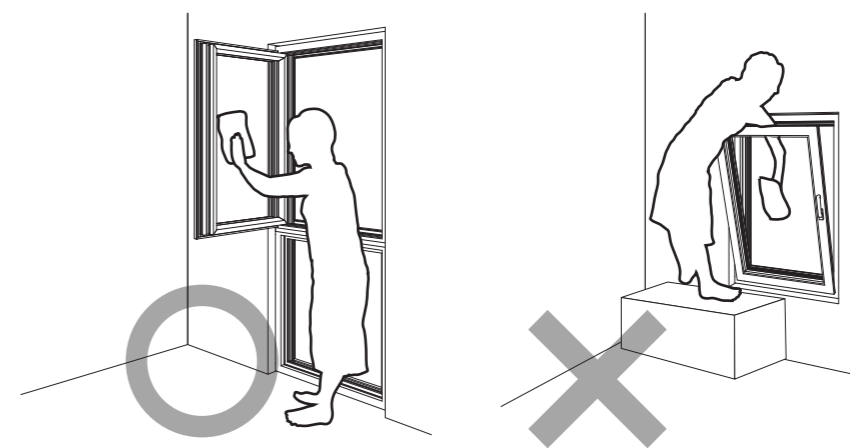
※木部以外は一般の洗剤を使った清掃方法が可能です。（アルミ部分は中性洗剤をお使い下さい。）

警告

● 清掃する際には、必ず窓がロックされているのを確認して下さい。

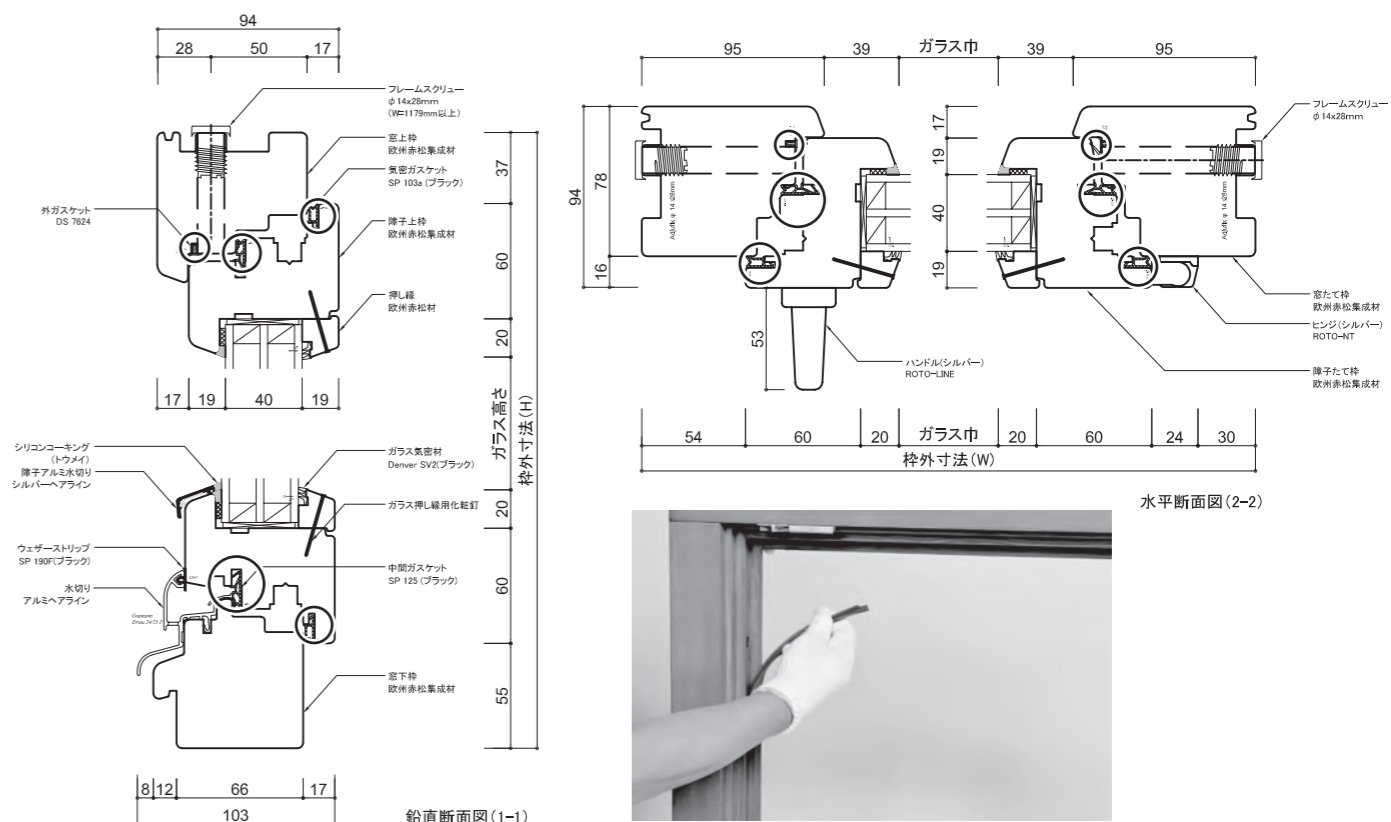
警告

● 無理な荷重をかけたりしないでください。破損や、窓の開閉に不具合が起こることがあります。



■ 気密パッキンのはめなおし

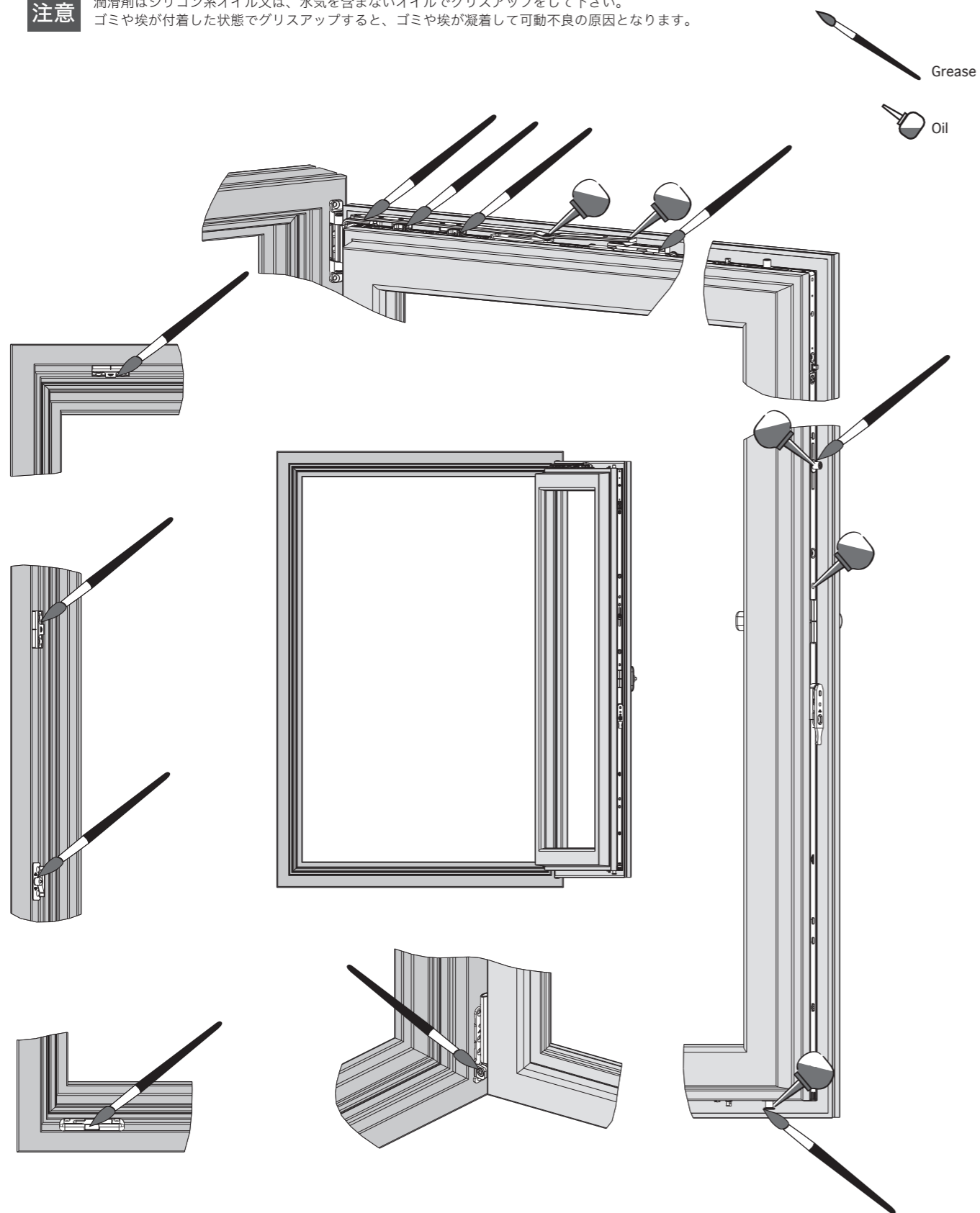
※各部の気密パッキンは経年による木部およびゴムの収縮がおり、外れる場合があります。接着剤や小さいビスで留めて下さい。パッキンの劣化が著しい場合は、建築業者様までお問い合わせ下さい。交換品をご案内致します。



■ 可動部分・金物部分のメンテナンス

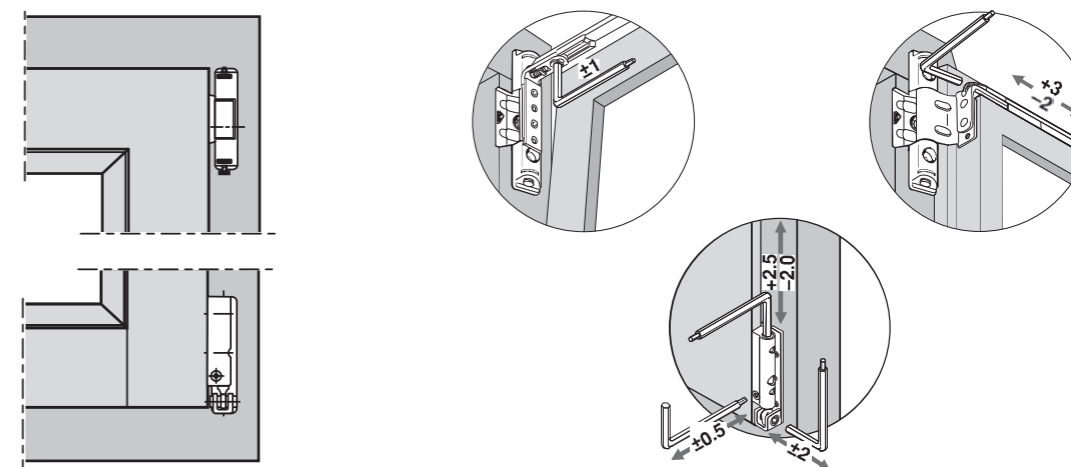
木製三層ガラス窓はアルミサッシや樹脂サッシと異なり、窓寸法が同じでも重量は約3倍となっております。その重みによる負荷は窓可動部の金物に集中しているため、日常生活による使用頻度や、扉の重みや、木部の膨張収縮等の経年変化により、アルミサッシや樹脂サッシでは起こりにくい開閉の重み、硬さ、摩擦が発生します。開閉に重みを感じられるようになった場合は、定期的に可動する箇所には潤滑剤でグリスアップをして下さい。それだけで開閉の重みが改善される場合があります。

注意 潤滑剤はシリコン系オイル又は、水気を含まないオイルでグリスアップして下さい。
ゴミや埃が付着した状態でグリスアップすると、ゴミや埃が凝着して可動不良の原因となります。



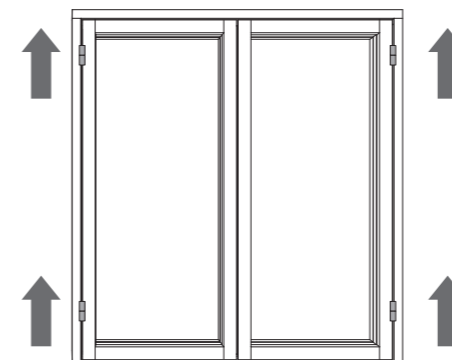
■ ドレーキップ窓・内開き窓・内開きドア [NDK・ND/DK・NDK/F・ND] の蝶番調整方法

日常生活による使用頻度や、扉の重みや、木部の膨張収縮の経年変化により、扉が枠に擦れる場合があります。その場合は、縦枠に付いている蝶番の調整で擦れを改善することができます。



①扉が閉じた状態で蝶番を右にスライドさせるとカバーがはずれます。

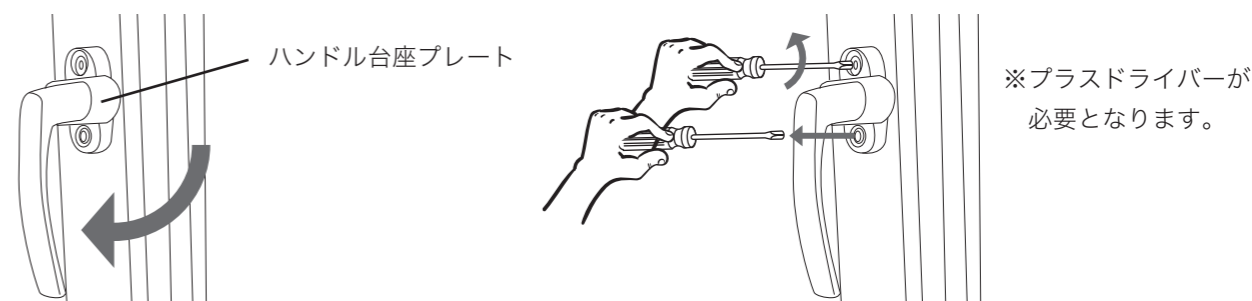
②蝶番に六角レンチ対応の調整穴があります。レンチを差し込み、上下左右の調整ができます。
※一番下の蝶番が一番荷重がかかっているため硬くなっております。



③荷重のバランスにより蝶番音鳴りの可能性があるため、全部の蝶番を均一に調整して下さい。

■ メンテナンス・部品交換時に必要な作業

ハンドルの外し方



ハンドル台座プレートを手前に引っ張り、90度回してビスを外します。